


**カフェテリアプラン  
民間企業導入比較**

**～四季報データより経年比較～**

**2022年版**



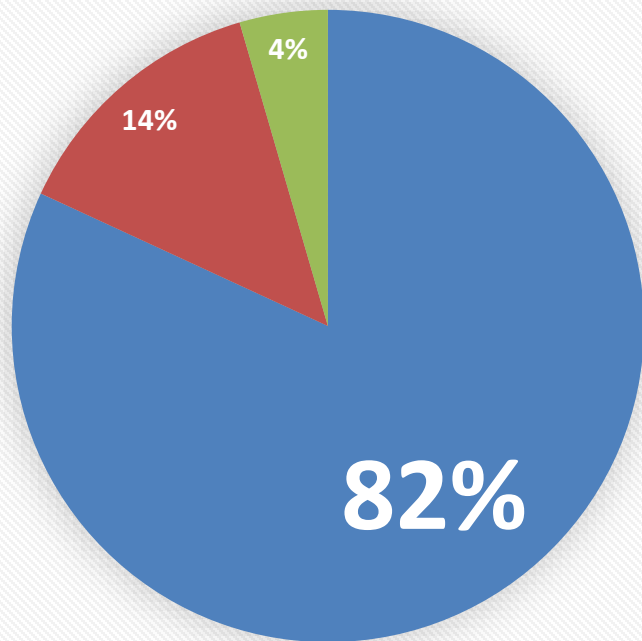
# 【経年比較！！】 データで見る カフェテリアプランのトレンド

導入検討にお役立ち！  
どんなカフェテリアプランが求められているか  
最新データをチェック

2022年版

## アウトソーサーへの委託率82%

### ◆運営方式

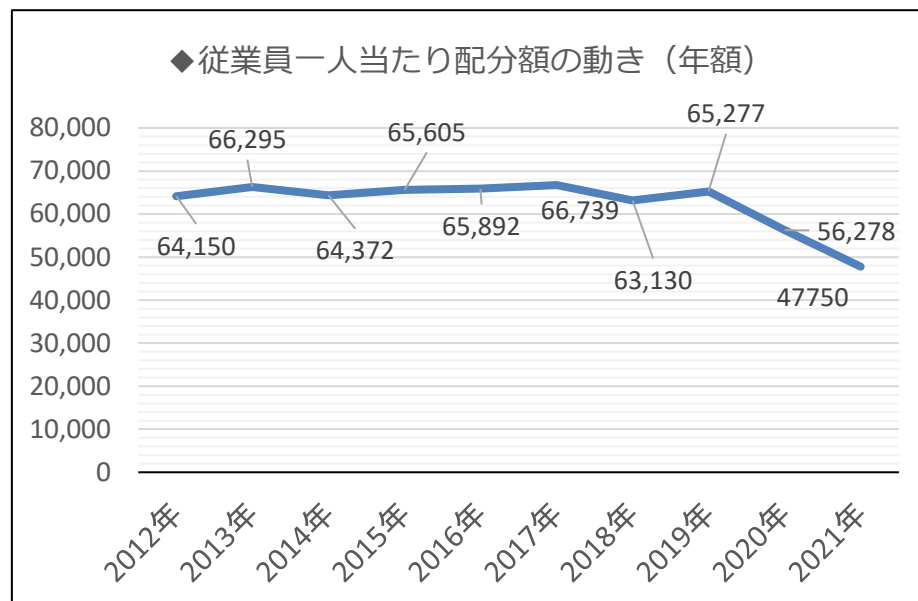


■ アウトソーサーに委託 ■ 独自運営 ■ その他

カフェテリアプランの運営方式は主に自社独自の運営とアウトソーサーへの委託に分けられる。

21年ではアウトソーサーへの委託が**82%**を占めた。

# 従業員1人当たりの配分額は4.7万円 1～4万円分の配分は36.4%



2011年配分額：65,041円

2020年配分額：56,278円

2021年配分額：47,750円

60,000円を軸に推移が見られる。

20～21年度減少要因の1つに毎月勤労統計調査のサンプル入れ替えが影響していると考えられている。

◆配分額の分布

配分額	2017年	2018年	2019年度	2020年度	2021年度
平均（年額・円）	66,739	63,130	65,277	56,278	47,750
1万～4万円未満	20.3%	21.7%	20.6%	36.1%	36.4%
4万～6万円	30.4%	34.8%	28.6%	19.4%	31.8%
6万～8万円	21.7%	23.2%	28.6%	22.2%	25.0%
8万～10万円	11.6%	8.7%	8.6%	11.1%	2.3%
10万円以上	15.9%	11.6%	14.3%	11.1%	4.5%

カフェ導入企業全体の  
**1万～4万円分**のポイント配分率は  
5年平均で**27%**(約**3.7社に1社**)

# ポイントの運用は単年度精算、全ポイント一律が多いが 育児介護への優遇も増加傾向

## ◆残ポイントの取り扱い

残ポイントを繰越可能に  
設定している企業は約**27%**

※目的限定積み立て：育児・介護等  
分野限定で積み立て可とするもの

残ポイントの取り扱い	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
単年度精算	59.4%	59.4%	71.4%	61.1%	72.7%
次年度に限り繰り越し可	17.4%	18.8%	5.7%	16.7%	15.9%
条件付きで繰り越し可	7.2%	5.8%	2.9%	8.3%	4.5%
目的限定で積み立て可	15.9%	15.9%	20.0%	13.9%	6.8%
制限なく繰り越し可	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## ◆ポイント単価の取り扱い

全ポイント一律が**55%**  
1P100円が**トップ**

※自己啓発メニューの優遇などで  
企業の目的を明確にしたり  
メニューの単価を変える(傾斜をか  
ける)企業が約**半分**の**45%**

ポイント単価	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全ポイント一律方式	59.4%	58.0%	57.1%	55.6%	54.5%
(100円)	34.8%	30.4%	25.7%	27.8%	25.0%
(1,000円)	13.0%	10.1%	8.6%	5.6%	4.5%
(1円)	10.1%	15.9%	22.9%	22.2%	25.0%
(10円)	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
(200円)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
変動単価(優遇単価方式)	40.6%	42.0%	42.9%	44.4%	45.5%

# 1社当たりの平均採用数は22メニュー 最多は余暇メニュー

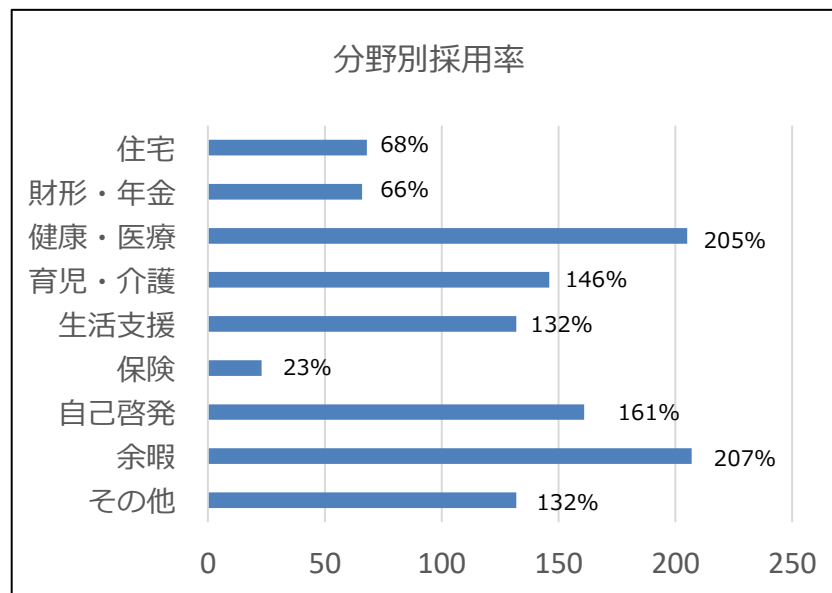
## ◆1社当たりの平均メニュー数

平均採用メニュー数は22メニュー  
2010年以降、採用メニュー数は増加傾向にある。  
従業員の生活スタイルは多様化し、サービスの種類が多いほど選択の幅は広がる。

メニュー数	2017年	2018年	2019年度	2020年度	2021年度
平均メニュー数(本)	26.8	27.2	28.2	26.3	22.3
9メニュー以下	4.3%	6.0%	6.3%	22.6%	18.8%
10～19	24.6%	23.9%	9.4%	9.7%	28.1%
20～29	42.0%	38.8%	34.4%	16.1%	21.9%
30～39	20.3%	20.9%	37.5%	32.3%	18.8%
40～	8.7%	10.4%	12.5%	19.4%	12.5%

## ◆分野別・メニュー採用数ランキング

- 1位：余暇分野 宿泊・旅行費
- 2位：健康・医療分野  
(フィットネス、人間ドック受診等)
- 3位：自己啓発
- 4位：育児・介護分野
- 5位：生活支援



# ポイント消化率は約84%

## 累計ポイント消化率トップは余暇メニュー

### ◆1社当たりのポイント消化率

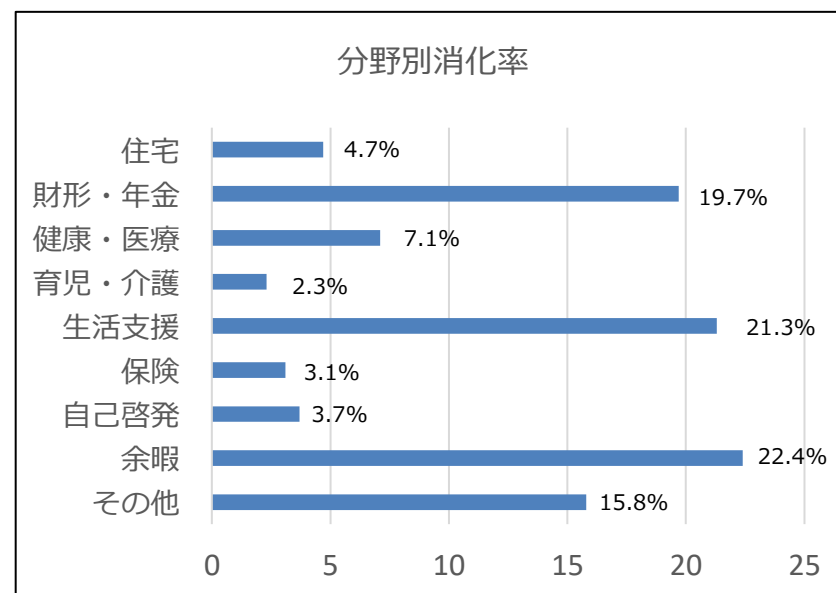
1万人以上規模の企業では80%代後半の高い消化率を維持。

999人未満規模は、2018年度までは9割超の高消化率だったが、2019年に10.3ポイント低下、2020年はさらに21ポイント低下。2021年は少し盛り返している。

企業規模	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
平均	87.5%	87.6%	81.6%	83.9%
～999人	91.0%	80.7%	59.7%	76.9%
1,000～2,999人	73.2%	83.7%	69.0%	77.1%
3,000～4,999人	85.0%	87.2%	86.4%	91.5%
5,000～9,999人	82.6%	88.3%	72.9%	70.9%
10,000人～	89.7%	88.2%	86.1%	87.6%

### ◆分野別・累計ポイント消化率ランキング

- 1位：余暇分野 宿泊・旅行費
- 2位：生活支援  
(社員食堂・昼食費補助・子ども教育費等)
- 3位：財形・年金
- 4位：健康・医療  
(フィットネス、人間ドック受診等)
- 5位：住宅 ※「その他」分野を除く



## 企業が採用している主なメニュー例

<b>財形年金</b>	財形貯蓄奨励金
	持株会奨励金
	401k・企業年金
	FP相談利用

<b>住宅</b>	社宅・独身寮入居
	家賃補助・住宅手当
	住宅融資利子補助

<b>自己啓発</b>	各種スクール受講
	資格取得受講
	受験
	パソコン教室受講
	パソコン購入
	書籍購入
	自己啓発・一般
	ボランティア活動・講座参加

<b>余暇</b>	宿泊・旅行費
	直営・契約保養所利用
	会員制リゾート利用
	チケット・イベント費用
	文化鑑賞・スポーツ観戦
	レジャー施設利用
	職場レク・クラブ活動

<b>育児介護</b>	育児施設・サービス利用
	育児用品購入
	ベビーシッター派遣
	認可外保育所、延長保育利用料
	教育費・教育ローン
	介護施設・サービス利用
介護用品購入	

<b>健康医療</b>	人間ドック・生活習慣病検診
	メンヘル・リラクゼーション利用
	医療費・差額ベッド代
	健康づくり
	禁煙外来

<b>生活支援</b>	社員食堂・BV(食券)利用
	ユニホーム・安全靴購入
	ホームヘルプ利用
	自社製品の購入
	引越しサービス利用
	通勤費・新幹線通勤費
	防災・防犯用品の購入
	身嗜み補助(スーツ、理・美容など)
	結婚支援
	ノーマル残業DAY補助
職場コミュニケーション補助	

<b>保険</b>	団体生命保険
	医療・がん保険
	介護保険
	所得保障保険
	自動車・火災保険

<b>その他</b>	社内コミュニケーション
	法律・生活相談利用
	ライフプランセミナー参加
	特別休暇の取得
	海外勤務者のサービス利用

## ▼育児補助の拡大



新型コロナウイルスの影響下、休園・急行の影響により育児メニュー（学童・ベビーシッター・保育所）の補助導入企業増加 ※学童施設利用800%増の例も

## ▼健康支援系メニュー



在宅時の健康支援および健康無関心層への対策として宅配弁当などへ補助

健康経営の促進へ貢献

禁煙支援・メンタルヘルス・アイケア・健康用品・スポーツ用品

## ▼奨学金返済補助

負担となっている奨学金返済の一部を補助するもの。  
若手社員の定着アップに貢献。



株式会社 イーウェル